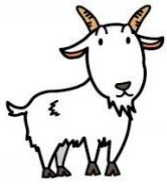
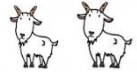


令和3年11月17日 校長先生のお話



「あこがれ」 ～こんな6年生になりたいな～ 修学旅行で教えてもらったこと



今週から寒くなってきましたが、元気にマラソンをがんばる人もたくさんいて、嬉しいです。今週も何人かの方が100周がんばって校長室にきてくれました。6年生で400周、2年生で200周を越えた人もいます。がんばった人はまた、校長室に来てください。



先週、校長先生は6年生と修学旅行に行ってきました。コロナが心配され、何度も行き先を変更しましたが、無事行ってくる事ができました。今日は、その修学旅行で本当に6年生がすばらしかったので、みんなにもこんな6年生を目指してほしいなと「あこがれ」というテーマで様子を紹介したいと思います。

今回の修学旅行のテーマは「**ルールを守り、しっかり話を聞いて、思い出に残る最高の修学旅行にしよう**」でした。さて、最高の修学旅行になったのでしょうか。

ルールをまもり
しっかりはなしをきいて
おもいでにのこる
さいこうの
しゅうがくりょこうにしよう

今回は、長野県内を中心に 1日目は、安曇野のワサビ農場やガラス工房、ホテルでのテーブルマナーや松本城、花火クルーズ、2日目は富士急ハイランドと盛りだくさんの



2日間でした。お天気にも恵まれて、とっても楽しい二日間でしたが、どうして楽しくできたかを校長先生なりに考えてみました。

まず一つは、一人一人が自分の役割を責任持って取り組めた「協力」ということです。各クラスでは、統率係や、副班長・保健係、学習係、宿舎・食事・美化係など係を決めていましたが、集合の時、班長さんがいつも先に来て人数確認をしたり、保健係が健康観察や消毒の声かけをしたり、各係が連絡をしたりしていました。そんな係の呼びかけに、学年のみなさんが本当に協力していました。その結果、2日間の集合については、すべて時間通りに集合し予定通り旅行ができました。当たり前かもしれませんが、とてもすごいことです。みんなの気持ちが一つになって協力できたんだと思います。

一人一人が
やくわりをはたし
協力できた



そして、二つ目は「おもいやり」ということです。旅行中、ワサビ農場で帽子が飛ばされて、ワサビだの中を流されてしまったことがありました。班の人たちは、「とれないよ！仕方ないよ！」ではなく、大きな声で助けを呼び、校長先生の所へきてくれました。幸い、農場の方をお呼びしてとっていただくことができたのですが、その間心配そうに見守りながら待っていてくれました。そして、とってもらったときに大きな声で「ありがとうございました」とみんなでお礼の挨拶をし

一人一人が
おもいやりをもって
行動きた



ていました。友だちのことを思いやり、みんなで楽しい旅を作ろうとしていたんでしょね。

また、富士急ハイランドでは、たくさん乗りたい乗り物もあったと思いますが、予想に反してかなり混雑して、人気のアトラクションは1時間待ちや2時間待ちとなっているところもあったり、その日休みの物も多く、予定を変えなければいけない場面があたりしました。予定を変更する際も、園内ですれ違った人に話を聞くと、自分の希望だけではなく友だちのことを考えて、絶叫系が苦手な人にも気を遣いながら、「〇〇さん苦手だから違うの探してるんだ」とか「みんなで乗れる物を探してる」などの声が聴かれました。みんなが楽しめるように声を掛け合っていました。

そして、3つ目は「マナー」がよいとほめられたことです。ホテルではテーブルマナー講習ということを行いました。たくさんのナイフとフォークを使って洋食の食べ方やルールを学びました。講習の先生からは、なぜテーブルマナーがあるかということそれは、お互いの人々が楽しく食事ができるための「思いやり」ですとお話をいただきました。中塩田小学校で大切にしていることと同じですよ。大切なのは「目配り、気配り、心配り」で、食材、食事を作ってくれた人、配膳の人、一緒に食べる人すべてに「ありがとう」の気持ちで接することですと教えていただきました。

マナー・あいさつ
よく行動できた
目配り・気配り・心配り



ちょっと緊張した所もありましたが、流石いつも静かに黙食をし

ている6年生！、お行儀よく静かに背筋を伸ばして席に座って、マナーよく食べることができました。ホテルの方からも、たいてい小学生は途中で立ち回ったり、動き出したりして落ち着かないのですが、「**中塩田小学校のみなさんはすごいですよ**」とほめられて、校長先生も嬉しかったです。



なぜ、楽しい修学旅行になったか・・・それは**6年生みなさんの協力と思いやり**ですね。これまでの6年間積み重ねてきた成長の姿が、この修学旅行で発揮されていたと思います。修学旅行へ行くことはバスが来れば行けますが、きっと6年生のみんなの心を合わせて創り上げた最高の思い出となる修学旅行になったのではないのでしょうか。また、それは普段の委員会やクラスでの友だちとの関わりの積み重ねだと思います。みなさんも、そんな「あこがれ」の6年生となれるように、1年1年を積み重ねて、何年後かにすばらしい修学旅行ができる6年生になってください。

あこがれの6年生
協力
おもいやり
マナー・あいさつ

最後に、旅行中に委員会など支えてくれた4, 5年生にも感謝です。ありがとう。そのほかにも、たくさんの旅行を支えてもらった人がいますので、感謝の気持ちを忘れないようにしましょう。今日は、「あこがれの6年生」

みなさんも
あこがれの6年生
になれるよう
一年一年
成長しよう

ということで、修学旅行のお話をさせていただきました。みなさんも、毎日の生活で、協力や思いやりを大切にしていきましょう。

最後まで聴いてくれて「**ありがとう**」。